



導入された食品放射能測定システム

安心して農産物を生産できる環境づくりに向けて 食品放射能測定システムを導入

市では、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故で放射性物質が広域的に放出された事を受け、農畜産物の出荷制限やこれに伴う風評被害によって、農業者などに大きな影響が心配されていることから、市の農畜産物の安全安心を消費者にPRし、市内の農業者が安心して農畜産物の生産ができるよう、食品放射能測定システムを導入しました。

◎導入した測定システム

- ・今回導入したシステムは、富士電機(株)製のNaI(Tl)シンチレーション検出器で、食品中のヨウ素131・セシウム134・セシウム137の各種を同時に検出・測定することができます(検出下限値は15~95ベクレル/kg)。
- ・測定対象は、米(白米・玄米)野菜(葉菜類)牛肉で、いずれも5kg~30kgの対象物を梱包状態で測定することができます。(米袋は30kgの物がそのまま可能。梱包の大きさには制限有り)※食品以外のもの(土壌、水)などは測定できません。

◎利用対象者

- ・市内で生産された農産物を販売・加工する農家、および業者。

◎設置場所・利用方法・時間

- ・設置場所は、なかだ農産物直売所「産直なかだ愛菜館」施設内【住所：中田町石森字本町95番地】
- ・利用時間は日曜日~木曜日までの午前9時30分から午後5時まで(金・土曜日、祝日は休み)
- ・利用料金は無料ですが、利用に当たっては、農産園芸畜産課に事前予約が必要です。
- ・事前予約の受付時間は、平日の午前8時30分から午後5時15分までです。

◎利用にあたっての注意

- ・このシステムは、公的機関による検査を経て流通が認められた食品に対して、販売業者などが自主的に検査(自主測定)するためのものです。簡易測定器ですので、測定結果などに証明書を発行することはできません。また、スーパーマーケットなど小売店で販売されたものは利用できません。

◎事前予約および問い合わせ

産業経済部農産園芸畜産課 ☎0220(34)2713



浅野教授によるミニ講話

「見る」「知る」「学ぶ」
OH!TOMEカフェ
で多くの発見を!

市では、自主的な活動の中心となる女性リーダーの養成と、男女共同参画の視点に立って地域活動を進めるとともに女性の積極的な参画を促進するため自分力UP講座

シリーズ 男女共同参画 ⑤

~男と女がともに輝くまちづくり~

OH!TOMEカフェで
生き生きとした時間を
過ごしませんか

このシリーズでは、市民の皆さんに男女共同参画社会について理解を深めてもらうため、市の推進事業の様子や各団体の活動状況などを紹介します。

「OH!TOME(おとめ)カフェ」を開催しています。9月10日には、米山町内で家族経営協定を結んで農業を営んでいる「かのファーム」を会場に1回目の講座が開催されました。

受講生の皆さんは、牛舎や大豆などを加工する農産加工所を見学したほか、畑で枝豆の収穫を体験しました。

また、登米市男女共同参画条例策定委員会委員長の浅野富美枝教授(宮城学院女子大学)を招き、男女共同参画社会の実現に向けた第1次産業の中で活躍する女性の役割についての講話も行われました。

農場の見学や農作業の体験を通して受講生からは「登米市の基幹産業である第1次産業が発展するためには、男女共同参画を推進させ、農業にも女性の力をますます発揮させていくことが大切」という感想が聞かれました。

今後開催を予定している講座も、参加者の皆さんの力を向上させる内容になっています。関心のある人は、追加募集も行っていますので、ぜひお申し込みください。

【問い合わせ】
企画部市民活動支援課
☎0220(22)2173

第26回カッパーフマラソン

交通規制のお知らせ

とき 11月27日(日)

規制時間 午前9時20分~正午

凡	例
	車両通行禁止区間
	迂回路
	大型車通行禁止
交通規制時間 11月27日 9時20分~正午	

